

世界のマーケットが注目!! 水を注ぐとたちまち発熱! 98℃の高温で持続
食品加熱・加温剤 発熱剤および発熱剤を使用する方法 東日本大震災、自衛隊でモーリアンが
モーリアンヒートパック 威力発揮、大貢献中!

平成16年度「彩の国産業技術大賞」特別賞受賞!

- 水を注ぐとたちまち発熱 「モーリアンヒートパック」 (日・米・欧・韓に特許登録商品)
- 火や電気を使わずに、いつでもどこでも水を注ぐだけで、高温の蒸気が発生し、食品等を簡単に加熱調理できる発熱剤です。
- 従来品に比べてパワーアップ、軽量化に成功した発熱剤を使用しています。
- 防災・アウトドア・企業備蓄・湯沸し・弁当加熱・ホテル・旅館・結婚式場・飲食店・教材用など様々な提案が出来ます。

日本特許登録第3467729号
米国特許登録第6200357号
欧州特許登録第1126004号
韓国特許登録第0407582号



需要増に対応し、第2工場完成!!
月産能力30万個から90万個にアップ

株式会社 協同 詳しいお問い合わせは…担当 中島まで
〒358-0011 埼玉県入間市下藤沢1097-1 TEL.04(2965)4221
FAX.04(2965)4302
http://www.morians.co.jp/ E-mail kiodo@morians.co.jp

いざ…という時!
太陽光で安全調理。
ソーラークッカー「サンカップロータス」シリーズに
1メートルモデル
「サンビームC100」登場

大型反射板は直径1m
⇒270Wの高出力
反射板は折りたたみ式
⇒良好な収納性・運搬性
※折りたたみ時は直径60cm
組み立て・設置は約5分
価格2万5000円(税別)

KEIYO 株式会社 京葉サンビーム

〒329-0214 栃木県小山市乙女933
Tel:0285-45-4111 Fax:0285-45-7716
keiyosunbeam@mbg.nifty.com www.keiyosunbeam.com

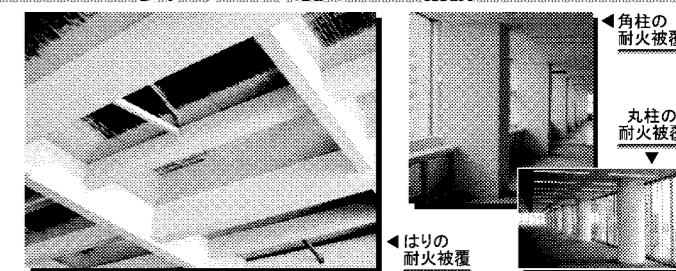
けい酸カルシウム耐火被覆板

ニータイガライト

Fireproof×Design

薄く 厚さ最大40%削減 (当社品比較)

安く ヨコト最大30%削減 (当社品比較)



免震装置への耐火被覆には [みんしんじき](http://www.jic-bestork.co.jp) シリーズ
詳しくは Web で <http://www.jic-bestork.co.jp>

JIC 東京 東京都中央区新川1丁目14番5号(金盃第3ビル3F)
TEL. 03(3553)7531 TEL. 03(3553)4530
岐阜 TEL. 058(327)5686 大阪 TEL. 06(6633)7322
仙台 TEL. 022(779)6651 福岡 TEL. 092(452)6651

東日本大震災被災地のいま、そしてこれから

ふんばるう東日本支援プロジェクト

ネット活用し効率的対応を

支援の形は時間とともに変化しています。
「発生直後は行政の支援が送られたが、行政の対応に時間がかかったり、支援者に送り返されたりしたケースがあった。震災後、早稲田大学大学院専任講師の西條剛央氏はインターネットを活用し、被災者からの要望と全国から支援を結ぶ「ふんばるう東日本支援プロジェクト」を設立。西條氏は提唱してきた理論・構造成り主義」を基に、状況と目的から有効な手段を導き出しその活動を行なう。日本最大級のボランティア団体として、さまざまな支援を行なっている。

東日本大震災の発生後、被災地には全国から物資が送られたが、行政の対応に時間がかかったり、支援者に送り返されたりしたケースがあった。震災後、早稲田大学大学院専任講師の西條剛央氏はインターネットを活用し、被災者からの要望と全国から支援を結ぶ「ふんばるう東日本支援プロジェクト」を設立。西條氏は提唱してきた理論・構造成り主義」を基に、状況と目的から有効な手段を導き出しその活動を行なう。日本最大級のボランティア団体として、さまざまな支援を行なっている。

代表 西條 剛央氏

(早稲田大学大学院 専任講師)

支援プロジェクト・インタビュー

9月1日は防災の日



常緑樹で300kmの防波堤築く

ガレキを活かす森の長城プロジェクト

東日本大震災では津波が防波堤を越え、その勢いがより大きくなエネルギーとなり、広範囲にまで被害を拡大させた。津波は近く際に押し流した自動車、樹木などの漂流物を破壊力に変化させ、海中に引き込む。今後、津波から人命を守るために有効な手段があるか。細川護熙元首相は森を防波堤にする手段に着目し、理事長として「ガレキを活かす森の長城プロジェクト」を進める。副理事長の宮脇昭(横浜国立大学名誉教授)は、防災対策を提供し、プロジェクトをサポートする。

森がどのように津波を防ぎますか。

「穴を掘り、そこにコンクリートや木材などのがれきや土砂を埋め、幅約10m、高さ約20mのマウンドを形成する。そのマウンド上にボリット苗90000万本を植え、森を育成する。森は成長し、全体で約50%の高さの防波堤になる。がれきが入ることで土壤との間に空気層ができる。津波がドに引き込まれる際に、木は根こそぎ持つて行かれることが防ぐ対策にもなる。10年間を自安で、海岸線沿いに南北300kmの防波堤を築くこと

森がどのように津波を防ぎますか。

「穴を掘り、そこにコンクリートや木材などのがれきや土砂を埋め、幅約10m、高さ約20mのマウンドを形成する。そのマウンド上にボリット苗90000万本を植え、森を育成する。森は成長し、全体で約50%の高さの防波堤になる。がれきが入ることで土壤との間に空気層ができる。津波がドに引き込まれる際に、木は根こそぎ持つて行かれることが防ぐ対策にもなる。10年間を自安で、海岸線沿いに南北300kmの防波堤を築く